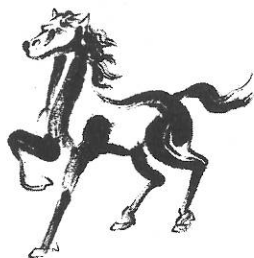




謹賀新年

新しい年を迎え皆様のご健康と
ご多幸を心よりお祈り申し上げます
本年もよろしくお願いいたします

平成二十六年 元旦

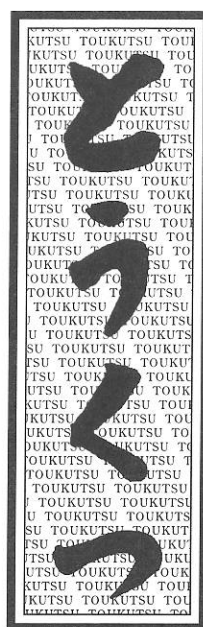


平成二十六年の新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。
昨年は4月に「一般社団法人東靴協会」へ移行し、六十有余年の歴史を踏まえ新たなスタートをさせて頂きました。一般消費者の為、また業界の発展の為に更に活動を充実させていきたいと思っております。
日本靴小売商連盟としては、東靴協会と共に運営しておりますシューフィッター養成講座は、本年春より当方の東京講座を「足と靴と健康協議会(FHA)」に委託する事に

双方で合意致しました。間において傘下の近畿靴小売商協会の運営している大阪講座も同じようにする予定です。FHAとは、将来を見据えて協力し合っていくことになりました。
当方より委託された受講者でFHAでの講座を修了した者は、当団体で認定することになります。今までの日本靴小売商連盟の既得者を含めてFHAの上級、専門コースを受講する資格も有することになりました。
お客様サービスの更なる充

年頭所感

日本靴小売商連盟
一般社団法人東靴協会
会長 小堤幸雄



一般社団法人
東靴協会
千代田区鍛冶町1-6-17
〒101-0044 ☎(3252) 5656
(1月号)

シューフィッターの皆様へ
住所・勤務先等変更が生じた時は必ず協会までご連絡をお願いします

実に取り組んで頂きたいと思
います。

社会状況としては、債務危機の影響で景気が低迷する欧州や尖閣諸島をめぐる関係が悪化している中国向けの輸出の伸び悩み、円安拡大、原子力発電問題による燃料輸入増といった要因等による、貿易赤字拡大基調から脱することは容易ではなくなっています。

将来的な人口減少が避けられない日本は、アジアをはじめとする世界の市場を視野に入れる必要があり、各国間のTPP・FTA・EPA交渉を踏まえ国際的な競争が一層激化して行くと思われる。本年は我が国をはじめ各国が、連携の強化を図っていくことが重要だと

考えます。

小売環境としては、今年は消費税が8%となるのが決定されており、会員諸氏は3月いっぱいまでは大きな商機と捉えて販売に勤しんで頂きたく感じます。海外客の多い店は免税店の申請をすることも方法かもしれません。増税後の買い控えも危惧されるところですが、景気回復の持続を以て前向きに取り組んでゆきたいと思えます。

我が業界についてはアベノミクスによる一部高額品の伸びがみられたものの、仕入に関してほとんどどの企業が円安の逆風に晒され様々なコスト高に苦しみ、売上ではまだデフレの波から脱することができないでいます。また、温暖化の影響が自然災害の多発と春夏秋冬の境が不明瞭な天候が続き、季節商品の商機が計りにくくなっています。

しかし、このような状況の中、消費者は単に消費するものと、ファッション性のあるものと健康・安全を意識した、より高機能のもの、価値のあるものを区分けして購入するようにな

っており、ネットを通じて様々な情報を集め、お客様応対を含め信頼性の高い店舗、企業を選んで購入するようになってまいりました。

そこで、教育事業として、シューフィッター養成講座、シューフィッター既得者勉強会、中堅社員研修講座、工場見学等を開催して会員企業の店頭スタッフの教育事業をさらに充足してゆくこと。また、「よい靴の選び方」の表題等で消費者講座を企画開催し、各地の消費者団体の要請を受けて啓蒙活動を展開する事業を拡大してゆきたいと思えます。また、日常生活として一般消費者、マスコミ関係、様々な団体やお役所からの靴に関する質問や問い合わせに出来る限り対応するよう努めてまいります。

もう悲観ばかりするのは止めましょう。それが不景気の大もとになってしまうと感じています。益々明るく元気に頑張ります。益々明るく元気に頑張ります。益々明るく元気に頑張ります。

本年の皆様のご健勝ご活躍、商売繁盛を祈願し、ご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

シューフィッター養成講座 東京会場開催

日本靴小売商連盟主催

シューフィッター養成講座が去る11月13日、14日の両日、東靴協会西村記念ホールに於いて開催された。

今回の受講生は独自で主催する最後の講座となった。参加者は本講で47名、補講1名の合計48名が参加し、二日間にわたり熱心に講義を受けていた。



カリキュラムは次の通り

◎11月13日(水)

革靴の商品知識

日本靴小売商連盟

SF講師 須藤教夫氏

ゴム履物の商品知識・底材

(株)ムーンスター品質保証部

部長 山中康博氏

足の生理、障害と病気

東京厚生年金病院リハビリ

テーシヨン室、理学療法士技師長 田中尚喜氏
足を調べる「足型計測」

日本靴小売商連盟

SF講師 後藤 誠氏

補佐 筒井博人氏

◎11月14日(木)

靴合わせの実際

日本靴小売商連盟

SF講師 木内二郎氏

足の構造と機能

新潟医療福祉大学教授

義肢装具士 阿部 薫氏

アジャストメント

日本靴小売商連盟

SF講師 鈴木信行氏

テスト、回答解説

日本靴小売商連盟会長

SF講師 小堤幸雄氏

休憩の後テストを行い、その後回答と問題の解説をし終わりにあたり、まとめの話で講座はすべて終了した。

シューフィッター 既得者勉強会開催

平成25年12月13日金曜日

午前10時より当協会西村記念ホールにおいて、18名が参加

して、シューフィッター既得者勉強会が開催された。

講師には日本靴小売商連盟講師の木内二郎氏が担当し

「FHAに対応した足型計測」の演題で行った。



木内二郎講師

今回の養成講座からFHAと合同になるため、今までのカリキュラムにはなかった計測ポイントを取り入れた深い内容で講義が行われた。

①直接計測 ②間接計測
③サイズ割り出しと、講義は進んだ。

計測ポイントには第一趾高・足高外踝端高が計測ポイントに追加される。

計測実習では今回追加されたポイントを含み参加者がグループになり、お互いを計測した。

きちつと組み立てられた講義内容でとても解りやすく、5分間の休憩を挟んだ2時間が少なく感じ、参加者は熱心に聞き入っていた。

【工場見学参加者募集】

日時：平成26年2月6日(木)

神田午前9時発・午後5時解散

(株)エイゾー(婦人靴工場)

(株)バレリアンシューズ(〃)

募集人数20名・参加費¥2,000・昼食含

◎申込み・協会までTEL又はFAXで

★昨年の人気番付

横綱・ミックス



色・素材をミックスしたアイテムが人気シンブル化が進み、色・素材使いで差別化した。メンズにもこの傾向はみられた。

大関一・カラフル



ここ数年は春にニュアンスカラーのパンプスやピンクなどの鮮やかなカラーが人気。

大関二・スリッポン



オペラシューズの定着。モカシン・ローファーなどのスリッポンが支持された。

関脇一・レトロランニング



ニューバランスを中心に男女ともレトロランニングがブレイク。ナイロン系ではカラーが重視。

関脇二・ブーティ



ショートブーツやブーティの人氣が高かった。エレガンス、カジュアル共より丈の短いブーティに人氣。

小結・キャンバススニーカー



男女共キャンバススニーカーがヒット。春は柄物に、その後、黒、白の単色が浮上。

前頭一・ヒール&フラット



フォームスニーカーボリュウム感があり従来スニーカーの客層ではない人々にも支持。

前頭二・新厚底



足元のボリュウム感がポイント、ハイウエッジでも高低差が少ないタイプが増え、歩きやすさもアップ。

前頭三・ポイントッドトゥ



ラウンドトゥが主流だったパンプス・フラットシューズにポイントッドトゥがトレンドとして登場し実売へつながる。

前頭四・ナチュラル



サンダル之苦戦が続いているが、ナチュラル素材を使った丸物が人氣。リネン系アイテムは夏の定番となった。

シンプル&ベーシックの波が強く、カラー・素材で新鮮さを求めた。

さらにレディースで見られる傾向が、メンズにも現れた。メンズの商品構成の見直しは必至だ。

シンブル化の傾向を色、素材、ラスト、底周りで変化させ、新たらしさを表現。ス波特ィーの流行で、スニーカーの新たな流れも起き、今年は期待を抱かせる年となる。

(FWプレスより)

業 界 情 報

ジーフィット出店3割増

イオン系の靴専門店ジーフィット(アスビー・フェミニンカフエ・グリーンボックス)は2015年2月期から今期より3割多い年に90店舗前後の出店を3年続ける。路面店に加え、総合スーパー内の靴売り場などに、17年2月期までに国内1000店の店舗網構築を目指す。

PBブランドの開発も強化する。現在のPB構成比は30%と競合のABCマートやチヨダの4割超に比較し低い。海外からの調達を増やすなど強化し、17年2月期までに45%に高める。

出店拡大と品揃え強化で、17年2月期は現在より3割増しの1300億円を目指す。

ABCマートは期末店舗数751店、売上高1800億円。チヨダは1111店、1550億円だ。

ABCマートは出店を加速しており、17年2月期末には大手3社が1000店舗体制で並ぶ可能性がある。

(日本経済新聞より)

個人店舗の経営は依然厳しい状況

総務省・経済センサスによる靴履物小売業の実態を分析したデータによると、2012年時点での靴・履物小売店舗数は1万1049店舗だった。

経営組織別では、対象店舗数が9877店舗になるが、法人は1682社で6030店舗、個人は3761社で店舗数は3847店舗、店舗シェアは法人61%、個人39%。法人の平均店舗数3.6店舗、個人は1.0店舗である。従業員数によるデータでは1000人以上が3社、大手3ナショナルチェーンで2495店舗、店舗シェア41%。3000~999人は9社で577店舗、合計12社での店舗シェアは50%になる。また、1店舗企業は1215社で企業総数1682社の72%を占めている。

一店舗当たりで見ると、法人企業の店舗当たりの従業員は6.3人、売上高1億1300万円(04年8937万円、07年9205万円)で大きく伸長している。個人店舗は従業員1.95人、売上高810万円(04年1106万円、07年922万円)にダウンしている。個人店舗の経営は依然厳しい状態が続いている。

(シューズポストより)

靴小売売上ランキング

フットウェアプレス新年号に恒例の売り上げランキングが掲載された。

ここに一部抜粋し掲載する。詳細は誌面をご覧ください。

これによると、上位のチェーン店がさらにシェアを伸ばしている。

ジーフィットは1000億円の大台に乗り、3社が1000億円を超えた。

100億円を上回るチェーン店は10社になり合計で4300億円ほどで専門店売り上げ

の約7割を占める。大型売り場で地域一番店戦略を進めるシューマートは二店舗売り上げが3億1000万円と大きい。

高い伸びを見せているのは、SCを中心に積極的に多店化を進めている「ダブルエー」「ジェイビー」「マール・マール・ジャパン」などで4千円~6千円台の婦人ケミカルを主力に展開している。

なお、決算期を変更したためジーフィット、神戸レザークロスの増減率は未掲載。

靴小売店ランキング

(百万円)

順位	社名(所在地)	今期売上	前期売上	増減率	店舗数	1店舗売上
1	樹エービーシーマート(東京都渋谷区)	131,840	122,088	8.0(%)	800	165
2	樹チヨダ(東京都杉並区)	108,330	110,314	△1.8	1143	95
3	樹ジーフィット(名古屋市中区)	102,454	92,136	期変更	673	152
4	ヒラキ樹(神戸市中央区)	20,642	21,653	△4.7	5	—
5	ダイアナ樹(東京都渋谷区)	15,746	14,516	8.5	83	190
6	神戸レザークロス樹(神戸市長田区)	13,819	5,864	期変更	127	109
7	樹かねまつ(東京都中央区)	11,500	11,800	△2.5	70	164
8	樹アカラ(東京都世田谷区)	11,196	10,303	837	77	145
9	樹シューマート(長野県長野市)	11,181	10,374	7.8	36	311
10	東京靴樹(島根県松江市)	10,338	10,382	△0.4	38	272
11	樹ニッカ(千葉県浦安市)	9,201	9,121	0.9	64	144
12	樹つるや(愛媛県、ア津山市)	8,164	7,927	3	94	88
13	樹タケヤ(東京都青梅市)	7,850	7,849	0	143	55
14	樹銀座ヨシノヤ(東京都台東区)	7,367	7,520	△2.0	74	100
15	樹モード・エ・ジャコモ(東京都渋谷区)	6,367	6,744	△5.5	65	98
16	樹ワシントン靴店(東京都港区)	5,110	5,256	△3.6	42	122
17	樹ビルゲンシュツク(東京都港区)	4,900	4,920	△0.4	34	141
18	樹おく田(岐阜県岐阜市)	4,815	4,565	5.5	34	142
19	樹ピナ(東京都渋谷区)	3,964	4,071	△2.6	40	99
20	樹ダブルエー(東京都渋谷区)	3,720	2,500	48.8	46	81
21	樹靴のホッタ(愛知県清須市)	3,417	3,223	6	38	90
22	樹アイウオーク(東京都杉並区)	3,337	3,313	0.7	40	84
23	樹ジェイビー(大阪府天王寺区)	3,137	1,835	71	40	78
24	樹テツカ(宮城県宮崎市)	2,686	2,511	7	27	99
25	樹シューバブ(東京都港区)	2,650	2,820	△6.0	43	62
26	樹マール・マール・ジャパン(神戸市長田区)	2,373	1,815	30.7	25	95
27	ボンフカヤ樹(福岡県中央区)	2,217	2,207	0.5	30	74
28	樹ニューバランスアスレティック(東京)	2,113	1,940	8.9	—	—
29	ビドックス樹(東京都渋谷区)	2,000	2,000	0	30	67
30	fitfit(東京都目黒区)	1,904	660	188.5	20	95

訃 報



現会長の小堤幸雄氏のご尊父である、元副会長の小堤磯吉氏(92歳)は平成25年12月25日、かねてより病氣療養中のところ、永眠されました。

葬儀は12月28日午後6時より通夜、29日午前11時より告別式が池袋の祥雲寺で取り行われ、業界関係者を始め多くの方々が参列し、氏の業績を讃えて想い出を語っていた。

氏は大正10年8月29日に川越市寺尾に誕生し、苦難の戦後を乗り切り、昭和26年に池袋にキッド靴店を開業。その後7店舗の支店を出店するなど発展を遂げた。

当協会では、平成5年から6年間、栗原孝・矢代祐三両会長の下、副会長として手腕を発揮し、ご活躍されました。

他にも各種団体の役員、理事、幹事など役職を歴任されていきました。

小堤磯吉氏のご冥福を、お祈り申し上げます。

理事会だより

11月

平成二十五年十月二十六(火)
午後二時半西村記念ホール

小堤会長が「景気が上向きとの報道がありますが、輸出企業中心で百貨店も今月に入つて失速気味である。我々は大手には出来ない、個店の特徴を出しファンを育ててゆくことが益々大事になってゆくと思います。」と挨拶。続いて川上副会長が参加者27名の定数を報告し議事に入る。

一、「靴まつり」の発送した

お買物券の扱いについて
田中理事より、資料を基にお買物券の取り扱いに関し、説明。

二、移行後の公益目的財産額

について

小堤会長から、東京都から「公益目的財産額の確定について」通知が来ている。詳細は、佐宗専務理事より、その財産の内容、性質、選択された理由、この5年間の推移等々説明があった。出席者に諮り、全員了承した。

三、シューフィッター養成講座

(東京)結果に関して

小堤会長から、11月13・14日のシューフィッター東京講座の結果について、48名受講、46名合格との報告。又、再受講については以前の不合格者含め約10名、来春に特別補講を準備を

しているとの説明。一同に諮り全員一致で承認、認定された。

四、親和会総会について

川上副会長より、親和会総会を26年2月19・20日に予定している。詳細は12月の理事会で決定したいとし、承認された。

五、各委員会の報告について

栗原茂副会長から、先日の催事・広報委員会では来年から12月に新年号としての発行を行い、1月を休刊にすべきとの提案があった。その為に月初に催事・広報委員会、12/18前後に理事会を設定する必要があるとの説明があった。

佐宗専務理事から工場見学の内容、日程について、平成26年2月6木曜日、(株)エイゾーとバレアンシューズ(株)を20名+役員で訪問するとの報告があった。一同に諮り、双方ともに了承された。

六、年末年始のスケジュール

栗原副会長より「このところの参加の少ない年頭多忙のときの交礼会」は1月の理事会の時にすべきとの提案があった。一同に諮り、満場一致で承認された。

七、その他

佐宗専務理事から、エレベーターのマイコン基板交換工事を来年2月中旬に行う予定だ。続いて、川上副会長から、地元商店街の名古屋、大津商店街視察結果について、その印象や活動状況などの報告があった。

理事会だより

12月

平成二十五年十二月十(火)
午後二時半西村記念ホール

川上副会長が参加者30名の定数報告を議事に入る。

平成26年度生命共済

について

三井住友あいおい生命の遠藤氏、東時の小宮氏から「団体契約を保持する条件は200名の加入と加入率が決まっているので、これを満たすためさらに努力をしてほしい」と要請された。

二、シューフィッター既得者

勉強会について

12月13日に木内二郎氏を講師にSF勉強会を開催。新計測ポイントを追加した講義となる。

三、親和会総会について

前回決まった2月19・20日の場所を、箱根湯本「南風荘」で開催したい旨川上副会長から提案。満場一致で承認。会員も減少しているで親和会にもぜひ入会下さい。

四、各委員会からの報告

研修委員会では2月6日に工場見学実施を再度説明。

五、日本靴小売商連盟総会

開催について

1月29日11時より開催予定、是非ご参加ください。(小堤)

六、その他

事務局より年末年始の予定。来年のSF養成講座をFHAに委託する件の確認をした。(佐宗)

東京都中小企業景況調査 {11月}

業況：期待感高まりつつも小休止
見通し：7年8か月ぶりに▲25を上回る

卸売業			業 況					
対象数	回答数	回答率	11 月			今後3か月間 見 通 し (当月比)		
			悪い	良い		悪い	良い	
875	328	37.5%	-100	0	100	-100	0	100
衣料・身の回り品	1. 男 子 服							
	2. 婦 人・子供服							
	3. 靴 ・ 履 物							
	4. かばん・袋物							
	5. 装身具・身の回り品							○

小売業			業 況					
対象数	回答数	回答率	11 月		今後3か月間 見 通 し (当月比)			
875	239	27.3%	悪い	良い	悪い	良い		
			-100	0	100	-100	0	100
衣料・身の回り品	1. 呉服・服地・寝具			○				
	2. 男子 服							
	3. 婦 人 服							
	4. 子 供 服							
	5. 靴 ・ 履 物							
	6. かばん・袋物							
	7. 雑貨・身の回り品							
	8. 時 計 ・ 眼 鏡							
	9. ジュエリー製品						○	

東京都中小企業景況調査 {10月}

業況：2か月連続で改善
見通し：改善期待続く

卸売業			業 況					
対象数	回答数	回答率	10 月		今後3か月間 見 通 し (当月比)			
			悪い	良い	悪い	良い		
875	344	39.3%	-100	0	100	-100	0	100
衣料・身の回り品	1. 男 子 服							
	2. 婦 人 ・ 子 供 服							
	3. 靴 ・ 履 物							
	4. か ば ん ・ 袋 物							
	5. 装身具・身の回り品							

小売業			業 況					
対象数	回答数	回答率	10 月		今後3か月間 見 通 し (当月比)			
875	248	28.3%	悪い	良い	悪い	良い		
			-100	0	100	-100	0	100
衣料・身の回り品	1. 呉服・服地・寝具							
	2. 男 子 服							
	3. 婦 人 服							
	4. 子 供 服							
	5. 靴 ・ 履 物							
	6. かばん・袋物							
	7. 雑貨・身の回り品							
	8. 時 計 ・ 眼 鏡							
	9. ジュエリー製品							

景況についてのアンケート結果

(対象月…25年 11月 12月)

全体的な業況		
良い	6.6%	20.0%
悪い	47.7%	60.0%
変わらず	46.7%	20.0%
売上げ		
前月比 増えた	13.3%	20.0%
減った	46.7%	40.0%
同じ	40.0%	40.0%
前年同月比 増えた	13.3%	20.0%
減った	40.0%	40.0%
同じ	46.7%	40.0%
販売価格は前月比		
騰貴した	13.3%	0.0%
下落した	33.3%	20.0%
同じ	53.4%	80.0%
販売経費は前月比		
増えた	13.3%	0.0%
減った	6.6%	0.0%
同じ	80.1%	100.0%